2026.07.23　CSM-K002
株式会社シーエスエム
代表取締役　島﨑　淳

【重要】弊社ネットワークへの不正アクセスに関するご報告

お客様各位
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたびは、弊社システムにおける不正アクセス事案につきまして、多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。
現在までの調査状況について、下記の通りご報告いたします。

記

1.　調査結果概要

（ア）調査の結果、本事案は FortiGate 機器に対する第三者からの不正アクセスであったことを確認しております。
（イ）不正アクセスがあった FortiGate 機器は撤去し、別のファイアウォールに入れ替えております。
（ウ）専門調査会社(デジタルデータソリューション社）の支援のもと、当該 FortiGate 機器配下に接続されていた PC およびサーバー(メインサーバーを除く)を対象としてファストフォレンジック調査を実施いたしました。

2.　影響範囲

（ア）現時点の調査結果では、不正アクセスの拡大、マルウェア感染、情報漏えいを示唆する痕跡など、異常と判断される事象は確認されておりません。
（イ）上記（ウ）の最終報告書につきましては、今週中を目途に受領する予定です。

3.　これまでの対応

（ア）不正アクセスを検知後、直ちに該当システムへのアクセスを遮断・外部専門機関と連携し、原因究明および被害範囲の調査を実施
（イ）関係機関（警察・個人情報保護委員会等）への報告

4.　業務再開についての判断

（ア）専門調査会社からは、現時点で確認できた範囲においては、メール送受信（添付ファイルの有無）を含む業務再開を妨げる要因は認められないとの見解を受けております。
（イ）弊社といたしましても、現時点で得られている調査結果および専門調査会社の見解を総合的に勘案し、業務を再開することが妥当であると判断しております。

5.　今後の対応

（ア）情報漏えいの有無につきましては、より詳細な確認が必要であることから、現在、メインサーバーを対象としたディープフォレンジック調査を実施しております。
（イ）当該調査につきましては、約 2 週間後を目途に調査結果をご報告できる見込みであり、最終的な調査報告書は約 1 か月後を目途に受領する予定です。
（ウ）引き続き専門調査会社と連携し、原因究明および影響範囲の確認を進めるとともに、新たな事実が判明した場合には速やかにご報告申し上げます。

このたびは、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

以上